

第3回例会 可決した 議案

区長提出議案

●平成24年度中野区一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ14億3299万円を追加計上するものです。これにより既定予算との合計額は、1179億1099万円となりました。

主な内容は、2020年オリンピック・パラリンピックの東京招致事業、ポリオ生ワクチンの不活化ワクチンへの変更及び4種混合ワクチンの導入、緊急雇用創出事業、東北復興祈念展などを実施する経費のほか、財政調整基金積立金、義務教育施設整備基金積立金、まちづくり基金積立金などをそれぞれ追加計上するものです。

●平成24年度中野区介護保険特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ1985万3千円を追加するものです。これにより既定予算との合計額は、198億3485万3千円となりました。

●中野区行政財産使用料条例の一部を改正する条例

①職員研修センター第二研修室の目的外使用の廃止、②高齢者福祉センターの段階的な廃止に伴い、規定を整備するものです。

●和解について

区が国から公園用地として取得した土地に存在した地下埋設物の撤去に関する損害賠償について、和解を成立させるに当たり議決をしたものです。

●中野中学校新校舎建設に伴う電気設備等工事請負契約

契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●中野中学校新校舎建設に伴う給排水衛生設備及びガス設備工事請負契約

契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●中野中学校新校舎建設に伴う空調和設備工事請負契約

契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●区道街路灯照器具取替工事請負契約

LED照器具への取替工事を行うため、契約を締結するに当たり、議決をしたものです。

●妙正寺川鷺の宮調節池人地盤整備工事委託契約

桃園区民活動センターの分室の廃止に伴い、規定を整備するものです。

●中野区立高齢者福祉センター条例の廃止等に関する条例

●中野区防災会議条例及び中野区災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の所掌事務の追加等を行うとともに、所要の規定整備をするものです。

●中野区子どもの医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

児童福祉法の改正に伴い、中野区子どもの医療費の助成に関する条例、中野区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例及び中野区立学童クラブ条例の3条例の規定を整備するものです。

●和解及び損害賠償額の決定について

区立保育園の園児と歩行者との接触事故に係る損害賠償について和解を成立させ、損害賠償額を決定するに当たり、議決をしたものです。

●中野区議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の改正により所要の規定を改めるものです。

議案に対する討論

●中野区立高齢者福祉センター条例の廃止等に関する条例

反対討論

金子 洋 (共産) (審議結果 可決)

中野区立高齢者福祉センター条例の廃止等に関する条例

反対討論

金子 洋 (共産) (審議結果 可決)

中野区立高齢者福祉センター条例の廃止等に関する条例

反対討論

金子 洋 (共産) (審議結果 可決)

中野区立高齢者福祉センター条例の廃止等に関する条例

反対討論

金子 洋 (共産) (審議結果 可決)

フアンドラッグ)の開発が急務です。

近年、独立行政法人国立精神・神経医療研究センターが世界に先駆けて開発研究を進めており、2009年5月、マウス実験による治療法開発の可能性が全世界に向け証明されました。

そして同年8月、製薬企業により助成事業を活用した取り組みが実行され、2011年6月、東北大学病院の医師主導による治療薬の第I相試験を終了しました。

しかし、第II・第III相試験を行うには巨額の資金が必要であるため、開発が暗礁に乗り上げたままになっています。

患者にとっては、日々進行する病状を考えると、もはや一刻の猶予も待てない深刻な状況です。計り知れない不安を抱きながら、一日も早い治療法の確立を待ち望んでいます。

よって、中野区議会は国会及び政府に対して、下記の事項を早期に実現するよう強く求めます。

1 患者が特に少ない希少疾病用医薬品(ウルトラ・オーファンドラッグ)の開発を促進・支援するための法整備を行うこと。

2 遠位型ミオパチーをはじめとする希少疾病に関する研究事業の更なる充実強化と継続的な支援を行うこと。

3 希少疾病用医薬品の早期承認と医療費補助を含む患者負担軽減のための措置を講ずること。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣あて)

期承認と医療費補助を含む患者負担軽減のための措置を講ずること。

構造を少し変化させるといふ「いたちごっこ」を繰り返し、法規制が追いつかないのが実態である。

脱法ハーブは覚醒剤や麻薬等の乱用への「入り口」になることが危惧されており、こうした状況を放置することは看過できない。今後、青少年をはじめとした薬物乱用の拡大を防ぐためにも、早急な規制強化が急務の課題である。

よって中野区議会は国会及び政府に対して、下記の事項について早急に対応するよう、強く要請する。

1 化学構造が類似していれば一括して薬事法の指定薬物として規制対象にできる「包括指定」を早急に導入すること。

2 指定薬物が麻薬取締官による取り締まりの対象外であることを改め、指定薬物を発見した場合に収去ができるなど法整備の強化を図ること。

3 特に若年者による乱用を防ぐため、薬物教育の徹底を含む未然防止策の強化を図ること。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、東京都知事あて)

脱法ハーブをめぐっては、化学構造を少し変化させることで法規制をすり抜け、指定薬物になればまた化学

閉会中の委員会の動き

7/26 報告9件を聴取

7/31 報告7件を聴取

7/27 報告5件を聴取

9/7 報告5件を聴取

7/26 報告6件を聴取

9/10 報告10件を聴取

7/30 報告10件を聴取

8/29 報告7件を聴取

子ども文教委員会

7/30 報告5件を聴取

8/30 報告4件を聴取

中野駅周辺地区等整備特別委員会

8/3 青梅市役所新庁舎を視察、報告2件を聴取

震災対策特別委員会

7/25 報告4件を聴取

8/30 震災時の避難所運営体験について学習会を開催、報告3件を聴取

地域支えあい推進特別委員会

8/1 中部すこやか福祉センターを視察、調査事項の経過並びに現状1件を聴取、報告1件を聴取

議会運営委員会

9/6 第3回定例会の日程などを協議

9/13 第3回定例会の招集日の確認や日程などを協議

9/13 第3回定例会の招集日の確認や日程などを協議